



U-16釧路プロコン ペアプログラミング講習？

2017年12月19日

パブリカ太郎

はじめに

本資料の目的

- 企画案のまとめ
- 開催する場合、準備内容のすり合わせ

ご判断いただきたいポイント

- 開催するか否か、お手伝いいただけるか否か

Executive Summary

企画の背景 (Why: なぜ必要なのか)

- 全道参加者の一部がCHaser Connect の不良により、満足に力を発揮できなかったもので、もう一度機会を用意したい→どのようなプログラムを作ったのか見せてもらいたい
- 全道に出られなかった釧路プロコン参加者＋講習会参加のみの方にももう一度プログラミングの場を提供したい。→あと一歩進むともっと良いプログラムになると考えられるので是非もう一度チャレンジしてほしい

Executive Summary

企画概要

(What: どのようなものなのか-コンセプト・実現イメージ・効果)

- U-16プロコン釧路大会出場者にもう一度参集いただき、CHaserで戦っていただく（総当たり戦）
- 高専生（場合によっては大人も）＋参加者にてペアプログラミングを実施。プログラムの改良後、もう一度対戦。
- 小中学生が興味が湧くようなプログラミングの話（講話）

Executive Summary

実現手段概要 (How: どうやって実現するのか-実現手段に関する重要事項)

- 場所を確保する
 - 釧路高専の演習室
 - 釧路高専 高橋先生とは会話済み。
 - 釧路高専 寺地くん施設使用届依頼予定。

Executive Summary

実現手段概要 (How: どうやって実現するのか-実現手段に関する重要事項)

- 人を確保する
 - 参加者
 - U-16釧路プロコン参加者に連絡
 - 場合によっては講習会参加のみの方にも
 - サポーター
 - 釧路高専プログラミング研究会の方たちに趣旨を話したうえでお願いしたい
 - U-16釧路プロコン実行委員の有志

Executive Summary

実現手段概要 (How: どうやって実現するのか-実現手段に関する重要事項)

- モノを確保する
 - 釧路高専の演習室を使えば特にモノは必要ない？

企画概要

参加者および高専の皆様のU-16釧路プロコンで高まった熱を冷まさないイベント



U-16釧路プロコン参加者 高専生 が楽しめるイベントに

実現できること

U-16釧路プロコン参加者の
プログラミング意識向上

次回U-16釧路プロコンに向けた
継続的なイベントへの足がかり

もたらされる効果予測

次回プロコンへの参加
プログラミング技術の向上

次回プロコンに向けた
定期的なイベント開催の気づき

企画内容

当日の企画の流れ（案）

前提：参加者は6名 高専生6名

13:00～
対戦①

参加者が持ち寄ったプログラムで参加者同士が総当たり戦。

13:30～
対戦②

高専生が持ち寄ったプログラムで高専生同士が総当たり戦。
プログラムの解説をしてもよいかも

14:30～
ペアプロ

参加者＋高専生でペアプログラミング。
ペアの組み方は古典的にあみだくじ（視覚でわかりやすいので）。
ペアプロ中は基本的に参加者が手を動かし、高専生がアドバイスを出すような仕組みにしたい。

企画内容

当日の企画の流れ（案）

前提：参加者は6名 高専生6名

16:30～
対戦③

参加者 + 高専生で改良したプログラムで参加者同士が総当たり戦。

17:00～
閉会

対戦③で1位になったペアには何かちょっとしたもののプレゼントしたいという希望。
次のイベント開催の連絡もできたら良いな～

スケジュール

企画のスケジュール

主要アクション	12月中	12月下	1月上	1月中	1月下	2月上
企画案の詰め	高専生の皆さんの都合を大事にしたいです					
支援する大人の確保						
高専生への説明・支援依頼						
場所の確保						
参加者への連絡・説明						
開催						

当初冬休み中を考えていたものの土日開催ならば冬休みじゃなくてもよいのではないかと思います1月末設定

補足・高専生の待遇について

支援していただける高専生に少しばかりでも金銭的な援助したいと考えております。

- 当日の交通費(¥1,000/1人 程度)
- もし午前中の設営から手伝ってもらえるなら、昼食代。もしくは懇親会代